

## 継続することの難しさ

この原稿の執筆中に強烈な地震に見舞われて(注：筆者は矢本町在住) 自宅も事務所もてんやわんやの大騒ぎでした。さいわい我が家の被害は少なかったものの、町内近隣の被害は甚大でした。真夜中・朝方・夕方と3度にわたる震動はこれまで経験した地震のパターンとは異なり、精神的にも被災した人々には大きなダメージを残しました。

こんな時に思うことは、地域コミュニティの存在です。災害の時に頼りになるのは、近隣の助け合いであり、まだ隣近所とのコミュニティが残っているこの地域に住んでいることもさいわいし、被害も思ったより少なくできたと思います。

そんな石巻地域の現状は、ここに来てNPO法人の取得を目指す団体の数も着実に増えており、法人化を目指す前段階で相談を受けたりするなかで最近気になることがあります。

地域や特定分野の活動をするために団体を設立し、将来は法人化を目指そうという相談者がいる一方で、財源確保を第一に考え、そのための手段としてNPO法人を目指す相談者も見受けられることです。

組織活動を将来にわたり継続して運営するためには、有給スタッフの雇用を考える団体も増えています。そのために安定した財源確保を優先するあまり、組織本来の活動よりも事業を優先してしまい、組織を設立した目的を忘れていくところがあるように思えます。

組織を目的の為に継続させていくことの難しさ、特に財源確保の重要性は、私自身の団体(いしのまきNPOセンター)でも課題となっており、そのために組織のミッションを忘れないようにしなければ、と最近自分に言い聞かせています。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 木村正樹

### 内 容

「地域貢献サポートファンド みんみん」始動！  
せんだいCARES・VOICE OF NPO PROJECT  
らくだのブクブク・センターサロン  
PONPO-NET報告・本・事務局活動報告



● 遂に運用開始！ 初の資金提供は、60万円！ ●  
**「地域貢献サポートファンド みんな」**  
(通称：みんなファンド)

7月1日、「地域貢献サポートファンドみんな」の運用が始まりました。17日には、その設立を記念して「記念講演&市民ドネーションパーティ」をエル・パーク仙台ギャラリーホールにて開催し、当日は約150人の参加者を迎えての大盛況となりました。また、同時に初の資金提供として60万円分の公募を大発表。市民が市民を支えるための画期的な基金がいよいよ動き始めました！



仙台・宮城発！  
「民」が「民」を支えるしくみ

地域の市民活動団体・NPOの活動を促進し、地域社会の活性化につなげていくためには、「民」(市民・企業・各種団体など)が「民」(市民活動団体・NPO)を支える仕組みが不可欠です。特に発展期にある団体の活動を促進し、責任を持って社会にサービスが提供できる団体になるためには、一定規模かつ継続的な資金支援の仕組みが必要です。このような背景から当センターでは2003年7月、サポート資源提供システム関連企業の皆様のご協力を得て、「地域貢献サポートファンド みんな」(通称 みんなファンド)を設立しました。

みんなファンドは、「今、資金支援を必要とするところ」へ資金を提供する仕組みとして、また、地域貢献・社会貢献を志向する地域の市民・企業・団体の方々の想いの受け皿として、設立された市民ファンドです。

みんなファンドのしくみは、寄付者からの資金提供と、NPO・市民活動団体からの情報提供によって支えられています。助成を希望する団体の皆様には、NPO情報ライブラリーにご登録の上、積極的に活動の情報を公開していただくこととなります。

またこのファンドでは、寄付者の方の様々な意思を活かした資金提供を行うために、次の4つの寄付メニューを用意しました。

- 1、本体ファンド：寄付金の使途をファンドに委任していただく
- 2、公募助成：広く地域の団体に公募して資金提供先を決める
- 3、団体指定寄付：公募を行わず、共感する団体に直接寄付をしていただく
- 4、冠ファンド：継続的な寄付については、寄付者の名前などを冠して資金提供を行なう地域社会に資金提供を通じて貢献したい願いが、いろんなかたちで実現できます。



10万円×6口に続いて、  
150万円の資金提供も発表

ファンド設立第1号の助成として、7月17日、60万円(10万円×6口)の助成金の公募が発表されました。今回の助成は新規事業だけではなく、既存の事業に対しても、その成果、社会変革性、先駆性などを考慮して助成を行います。8月20日応募締め切りで、9月6日に助成決定という、スピーディーな助成金です。皆様のご応募をお待ちしています。(詳しくは、助成金情報をご覧ください。)

さらに、7月17日当日は、宮城労働金庫様より資金提供のお申し出をいただき、早速、会場にお出での方々にお伝えしました。詳しいご案内は、後日会員の皆様にお知らせいたします。なお、「ぜひ私のお金でNPOを支援したい！」というお申し出も、大歓迎です。お気軽に事務局までお問い合わせください。

**速報！ 記念講演 & 市民ドネーションパーティ**

第2部では「信託と公共性」をテーマに当センター理事の加藤哲夫・川村志厚がトークセッションを繰り広げました。今回は骨子をご紹介します。次代へのキーワードが続出しました！

.....  
 NPOの資金源を考えた時に「信頼・信託」がないとなかなか資金は集まりません。イギリスで経験した地域共同体では「よき隣人」としての関係づくりができていました。これは地縁・血縁ではない対等な人間として「信頼・信託 (Trust)」を基盤にした関係。NPOの活動の基盤も同様の考えではないでしょうか。信託には財産を預ける「委託者」、それを預かり適切に運用する「受託者」、その運用から恩恵を受ける「受益者」の3者がいます。「みんなファンド」もこの関係に当てはまり、契約のみを基盤とした関係というより、信頼の上に契約が乗ったような関係です。

最近では企業についても、「会社を取り巻くコミュニティからの信託」が重視され、コミュニティ形成がマーケティングの最終目標とされています。NPOや企業が地域や社会からの「信託」を得るために積極的に情報や成果を公開し、多様で重層的な関係づくりを進めることが、これから益々地域のQOLを高めるのに不可欠になってきています。

※お断り：都合によりゲストが来仙できなくなり、かわりに当センター理事によるトークセッションを実施しました。

(遠藤 智栄)

日本初！？と言われる画期的な試みとなった「市民ドネーションパーティ」は、第3部の企画として盛大に開催されました。この「パーティ」の仕組みは、まず、仙台市内で活躍する7つのNPOが、3分ずつプレゼンテーションを行います。そして、発表が終わった段階で、会場に集まった参加者が、当日入場券を兼ねた「ドネーションチケット」(寄付投票券)を「応援したい!」と思った団体に投票します。そして、その投票数×1000円が寄付金として、それぞれのNPOに会場から贈呈されるというものです。

さらに、投票上位3団体には、当日欠席者が購入した分のドネーションチケット売上分と、賛助購入分の売上を分割して特別ボーナスとして支給しました。これにより、当日参加できなかった人の気持ちも無駄にすることなく、NPO支援の輪を活かすことができました。

最終的には、私たちの予想を超える38万円もの寄付があつまり、参加NPOの新たな活力として活かされることになりました。参加者からは、「こうした顔の見える寄付は初めてだった」との声も聞かれました。参加NPOと、集まる市民(企業)の双方向の市民参加型「資金調達術」。あなたの街でもいかがですか？

(工藤 寛之)

**どうなる？公益法人制度改革**

公益法人制度改革の行方を語るセミナーを開催！！

今年2月に急遽浮上した、公益法人制度改革。当初案では、公益法人(社団・財団)、NPO法人、中間法人の3法人を「非営利法人」として一本化し、原則課税(会費・寄付金にも課税)となっていたため、大騒ぎになりました。この問題のその後の展開と、今後必要な取り組みについて考えるセミナーを、先日7月5日に開催しました。当日は、シリーズII市民活動を支える制度をつくる会の松原さんをお招きし、これまでの経緯についてお話いただいた後、今後の方向性を考えました。

現時点では、原則課税の非営利法人制度を2006年度末までに創設し、当面は公益法人を改革の対象とする方向で検討が進んでいます。さらに、この非営利法人の中から一定の公益性を有すると判断される法人について、税制上の優遇措置を与えることが検討されています。また、NPO法人については「非営利法人制度の創設までに関係を整理すること」になっており、結論は出ていません。この案を見ても、NPOの活動基盤となる法制度・税制度が今後どう変化するかは、まだ不透明なままです。また、NPOが担う新しい「公益」の意義がきちんと認識されないまま、「公益性」の判断が政府に委ねられてしまう点、非営利法人に課税をする法的根拠があまりない点、さらに、そもそも議論が密室の中で行われ現場の経験や状況・想いが制度にまったく活かされていない点など、多くの問題があります。

NPOセクターからの運動は、2004年度がヤマになりそうです。センターではそれに向けて、地域のNPOのネットワークづくりなど、様々な働きかけを行ってまいります。ご理解とご協力をぜひお願いします。

(高田 篤)

★★

地図にない仙台がここにある・・・。

★★

# 今年の秋は“せんだいCARES”!

突然ですが、今年の仙台の秋は「NPOの秋」です！食欲の秋、読書の秋と秋にもいろいろありますが、今年がちがいます。その訳は、11月の1ヶ月間、“せんだいCARES”というキャンペーンが開催されるからです。

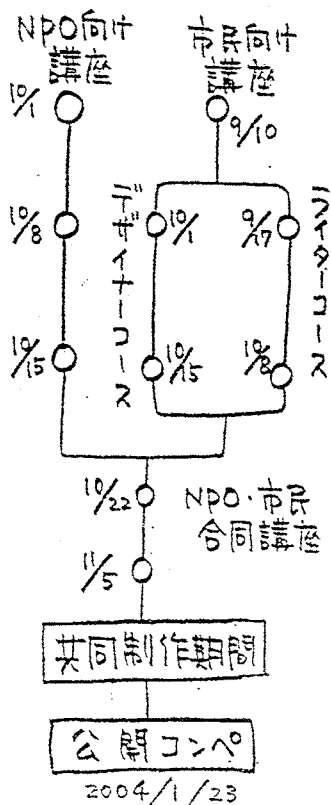
“せんだいCARES”とは、このキャンペーン期間中、仙台のNPOが行うさまざまな事業やイベントに、企業も含めたたくさんの市民が協力して参加し、杜の都仙台の“ケア(お世話)”してあげようというステキな企画です。

NPOにとっては、さまざまな分野で活動している団体が、「仙台の市民やまちのために」活動していることを大々的な広報によって一括してアピールすることで、より多くの市民にNPOのパワーを伝えます。また、市民がその

活動にふれる機会を用意して、NPOの活動への参加者や支援者を増やしていこうというキャンペーンなのです。さらに、企業セクターの参加も企画の大きな特徴の一つです。NPOと企業の新たな出会いや連携が生まれるように、NPOが一日体験ボランティアやイベントスタッフなどのプログラムを提供する予定です。

NPOの活動の認知を一気に高めるとともに、企業の「地域参加・地域貢献」も同時に応援してしまおうという欲張り企画。参加NPOの募集は、8月1日の参加説明会を経て8月20日まで受け付けています。気になった方は事務局担当の門間・工藤までぜひお問い合わせ下さい！

(工藤 寛之)



お待たせいたしました！今年もやります！！  
**「VOICE OF NPO PROJECT 2003」**  
 NPOのための広報戦略サポート事業

昨年、延べ2100人もの方々が参加した、NPOのための広報戦略サポート事業『VOICE OF NPO PROJECT 2003』。たくさんの市民の方々のご要望におこたえて、さらにパワーアップして今年も実施します。この事業は、NPO・市民活動団体からの参加者は、「戦略的な広報」を学びながら組織力をアップすることを目的とし、また、「編集ボランティア」として参加する一般市民からの参加者は、自分の特技や趣味を、職場や学校、あるいは、家庭でもないNPOの活動現場で発揮することを目的としています。

市民向けの「市民ライター&市民デザイナー養成講座」は9月10日(水) 18:30スタート、NPO・市民活動団体向けの「NPOのための広報戦略講座」は10月1日(水) 14:00スタートです。昨年参加した方も、今年はじめて参加されるかたも大歓迎です！詳細は、事務局までお問い合わせください。  
 (門間 尚子)

■センターサロン報告■  
第76回・第77回

部会報告

■PONPO-NET■  
5月24日開催

第76回は、「市民提案型まちづくり活動助成の活かし方」と題し、今年度仙台市各区に分かれて募集された、まちづくり活動助成の担当者をお招きし、各区の募集の特徴や、申請及び選考の方法などを伺いました。参加者からは「各区域に根ざした活動に対する助成」という条件が、団体の活動範囲に合致するかなどの質問が相次ぎました。市民活動団体にとって助成金は関心の高いテーマですが、去年に引き続きこのテーマでサロンが開催されたことで、とても役に立ったとの感想を多くの方から戴きました。当センターでは今後も助成のあり方について、考えていきたいと思えます。

第77回は「災害に備えたまちづくり～NPOと市民からはじまるネットワーク」でした。災害救援に取り組んでいる県内のNPOや市民など、様々な分野の人があつまり、阪神淡路大震災の経験談や、NPOが取り組んでいる災害救援の取組みについての話を聞くと共に、災害に強いまちづくりをすすめる為に市民ができることについて、意見交換を行いました。近い将来に大地震が起きることが確実とされている宮城県で、日頃から多くの市民や団体同士のネットワークを構築していくことや、まずは自分が被災しないことの必要性を、改めて認識させられた会でした。

(中務 恵美)

5月24日(土)に、仙台国際センターで、「持続可能経営のススメ～オランダからの研修生と共に考えるCSR～」をテーマに開催しました。今回は、アイセック仙台委員会との共催で、新しい企業関係者が大勢参加して30人程となり、オランダよりの研修生ミック・ホーベニールさんもゲスト参加して、手作りチーズ・パンケーキを食べながら英語を交えて、国際色の豊かな場となりました。

内容としては、まずCSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)について、特に環境とCSR、雇用とCSRの側面から解説され、オランダのワークシェアリングの効果も紹介されました。また、アイセック仙台委員会からは、仙台でのCSR普及に関して、CSR促進団体の設立や、企業と学生を結びつける教育系CSRの導入などが提案されました。意見交換の席では、「CSRとして社会貢献よりも企業が存在し続ける事が重要」、「"Responsibility"は"責任"と訳されるが、本来は"応答可能性"の意味で、地域や市場の人々との交流や対話を通じて実践していくことが大切」などが話されました。

今後のPONPO-NETでは、9月「商店街とまちづくり」10月「企業の環境対策と不法投棄の実態」をテーマに実施する予定です。

(松尾 敏行)

第3回市民活動カラフルフェスタ開催

<仙台市市民活動サポートセンター事業>

今年6月30日(月)から、7月6日(日)までの1週間、会期を延長して開催しました。今回のテーマは「仙台の今を知る1週間」。60以上のNPOの協力による14の企画が開催され、1000人を越える方々にご参加いただきました。いくつか特徴的な成果を紹介すると、まず共通の課題に取り組むNPOが協力して企画を作り上げたことがあげられます。これにより、最新の活動や課題を反映した企画が生まれ、新たな連携体制の誕生にもつながっています。また、カラフルフェスタがきっかけとなって、いくつもの他団体から協力依頼が来ているという嬉しい声も聞かれています。次に、行政担当者が出席した企画の多さも特徴と言えます。担当者を交えた建設的な意見交換は、今後の協働を探る上で重要な機会となりました。各企画の参加者が多かった理由には、広報を参加団体と協働で進めたことがあげられます。それぞれの団体がプレスリリースを行ない、イベントやニュースレターを駆使した幅広い広報を行いました。会場が本町に飛び出したのも今年の大きな特徴です。「本町アートプロジェクト」では、本町商店街と芸術関連の団体の協力で、街全体を巻き込んだ楽しいお祭り空間が出現しました。終了後に「来年もぜひ声をかけてください」という団体が多かったのも、うれしい成果でした。

(畠山未津留)

BENYのはみ出しエッセイ ◆らくだのブクブク◆ vol.5

「ここのお気に入り、紅烏龍」

常務理事・事務局長 紅邑 晶子

今年もコンビニの清涼飲料の棚には、様々な新製品が並んでいます。名前だけで、どんな飲み物かわかるものもあれば、飲まなければわからないというものもあります。120円から150円ぐらいならハズレてもかまわないと思い、パッケージやネーミングで判断して購入しています。でも、10000円以上の買い物になると、200円以内のハズレとは違うので、そう簡単に選ぶわけにはいきませんよね。

ちなみに、わたしが選ぶ清涼飲料は、比較的短命なものが多く、ちょっと気を抜くと棚から姿を消してしまいがちでした。ところが、今年選んだ「紅烏龍」は、うれしいことに健闘しています。わたしが選んだ理由は、個人的に「紅」という言葉に共感した(!?)ということと、ウーロン茶にしては苦味が少ないさっぱりした味わいです。それと、パッケージデザインのカッコ良さ。健闘している理由は、後の2つでしょうね。

ところで、わたしたちの活動でも、新しい事業をスタートさせる場合、あるいは新しい団体を立ち上げる場合、それに共感してもらうためには、一目でわかるネーミング、わかりやすいキャッチフレーズや解説文、注目を集めるデザイン、ニュース性などが求められます。もちろん、その事業に共感してもらう対象をどこに定めるかによっても、パッケージやメッセージは違ってきます。また、ニュース性という点では、「初」という言葉は、上手に活用すると効果的です。意図的なちぐはぐさも、目を引く場合があります。意表を突く、驚かせるという方法もあります。

お手軽価格の中での清涼飲料戦争。その中から、あなたが手に取った商品は、なぜあなたに選ばれたのか。その理由を分析して、お手軽じゃないNPOの事業開発に活用できるところを搜してみよう。

「イベントに人が来ないのは天気の問題だ」：皆さんもよく言いませんか？そんな、活動が広がらない、という皆さんにぜひ参照してほしいのが、この本の「ワクワク系マーケティング」。今回は私がナルホド！と思っただけを紹介します。

「お客さんのニーズを満たすこと」も大切ですが、お客さん（NPOで言えば「支援者」や「会員」、「受益者」も場合によっては入る？）は満たされて当然なので、それ以上のことが無ければ離れてしまいます。足りないのは「ワクワク感」、心の豊かさなのです。

では、ワクワクとは何か？気づきがある、じーんとくる、スカッとすることだそう。この感覚は、NPOに携わっている皆さんであれば、どなたも経験済みですよ。ワクワク系マーケティングでは、この感覚を知っていれば、誰でもできるということです。（ただし、感覚を研ぎ澄ませ

BOOK

「惚れるしくみ」がお店を変える！

小阪 祐司著

フォレスト出版 1500円(税別)

る必要アリ！）

じゃあ、一体どうするかというところ、モノではなく「ひと」にフォーカスして捉え直すこと。そして、それを直感的にわかりやすくイメージできる表現をすることが、ワクワク系のこと。さらには、ワクワクという人の感動を広げることによって市場を作ることができると書いてあります。

とある若者が、NPOの世界を少し覗いて「心が動いた」と言っていました。NPOにはワクワク系の魅力がすでにあり、市場を作り出せる要素を持っているのです！すなわち、受益者や支援者、参加者を拡大させる要素がありますが、この本で言う「編集」「演出」「表現」力が少し足りないのだと思います。

顧客分析別アプローチ法、編集・演出・表現力アップ方法、そして自分もワクワクするノウハウが満載のこの本、必読です！

(田中 聡子)

## 事務局活動報告 (2003.5/23~7/25)

## 活動報告

## ■事務局/自主事業関連

- ・事業企画戦略会議 (第15回:5/27 第16回:6/6 第17回:6/19 第18回:7/15)
- ・センター会議 (5/28 6/25)
- ・事業・運営会議 (第62回:5/30 第63回:6/16 第64回:7/10 第65回:7/24)
- ・仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング (6/6・11・18・7/2・9・16・23)
- ・事務局ミーティング (6/12・7/15)
- ・理事会 (第48回:6/24 第49回:7/25)
- ・PONPO-NET「企業の社会的責任」(5/24・7/17 紅邑・田中・中津・松尾)
- ・センタードサロ「全市で総額2,130万円!市民提案型まちづくり活動助成の活かし方」[災害に備えたまちづくり、NPOと市民からはじまるネットワーク]「蕪栗めまっくらぶ体験訪問~海の日なのに浴体験!？」(5/29 6/12 7/21 紅邑・遠藤・田中・中津・中務)
- ・サポート資源提供システム物品内覧会 (キリンビール ハリウコミュニケーションズ(株) 6/2)
- ・サポート資源提供システム運営委員会 (6/18 加藤・紅邑・遠藤(智)・高田)
- ・コミュニティ・ビジネス実践研究会 (6/5・7/11 加藤・紅邑・山田・川村・遠藤(智)・門間)
- ・みやぎNPO支援センターネットワーク打合 (6/5 加藤・青木・遠藤(智)・工藤)
- ・NPOボランティアマネジメント講座 (紅邑・遠藤(智) 遊佐)
- ・NPO法制度部会セミナー「あれからどうなった?これからどうなる!なくなるのかNPO法人制度??公益法人制度改革の行方は?!」(7/5 加藤・紅邑・高田)
- ・「地域貢献サポートファンドみんな」設立記念講演&市民ドネーションパーティ (7/17)
- ・せんだいCARESサポーターズ会議 (紅邑・工藤・門間)

## ■NPO/企業関連

- ・「NPOの政策提案力の開発と、NPOの参画を保障する自治体の政策形成システムの提案」ワーキンググループ (5/23・24 加藤 紅邑 黒澤 新川 高田)
- ・(特)日本NPOセンター理事会 (5/30 加藤)
- ・講演/主催:日本リラクゼーションフットケア協会 (6/3 加藤)
- ・講演/主催:(社)日本女子大学教育文化振興会桜楓会 (6/7 加藤)
- ・NPO支援センター強化プログラム発表会/主催:日本財団 (6/8・9 加藤・紅邑・門間)
- ・講演/主催:「小さな親切」運動宮城県本部 (6/12加藤)
- ・事例報告「サポート資源提供システム」/主催:全国民間ボランティア・市民活動推進者企画戦略会議 (6/20・21 高田)
- ・研修&セミナー講師/主催:きょうとNPOセンター (6/26・27 加藤)
- ・Jcafe臨時総会 (6/29 加藤)
- ・日韓市民スクエア視察 (7/3 紅邑・加藤)
- ・講演/主催:神奈川NPOマネジメント終了式 (7/4加藤)
- ・ファシリテーター研修/主催:日本財団 (7/7・18加藤)
- ・NPO支援センター初任者スタッフ研修会/主催:(特)日本NPOセンター (7/11・12 遠藤孝)

- ・事例報告「具体的な各地のNPO支援センターの取り組み」/主催:(特)日本NPOセンター (7/12 高田)

## ■自治体関連

- ・アレマキャンペーン/主催:仙台市環境局廃棄物管理課 (5/25 紅邑・門間・遠藤孝)
- ・(財)宮城県地域振興センター評議員会 (5/26 紅邑)
- ・「メガトレンド情報(NPO)」/宮城県職員研修 (5/28 加藤)
- ・仙台市都市計画審議会 (5/30 紅邑)
- ・「東口まちかど探見」/主催:仙台市中央市民センター (5/31 工藤)
- ・仙台市市民公益活動促進委員会 (6/2・7/23 紅邑)
- ・宮城県立図書館協議会 (6/5 紅邑)
- ・「地域福祉におけるNPO活動の基本のき」/主催:宮城県社会福祉協議会 (6/11 工藤)
- ・新潟県NPOサポートセンター運営企画コンペ審査会 (6/16 加藤)
- ・仙台市太白区まちづくり活動助成事業評価委員会 (6/16 遠藤智)
- ・新潟県安塚町「職員研修」(6/20・21・7/13・20 加藤)
- ・宮城県立宮城広瀬高等学校 (6/18 遠藤(孝))
- ・みやぎ地球市民すくすく計画2003「市民プロデューサー養成講座」/主催:宮城県環境生活部青少年課 (6/21・22・28 紅邑・田中・佐藤)
- ・「パートナーシップとは?」「管理職に求められるもの」/仙台市職員研修 (6/24・7/9・10 加藤)
- ・仙台市市民活動サポートセンターまつり第3回市民活動カラフルフェスタ「ボランティア大相談会団体向け事前説明会」「記者発表」「オープニング企画:利用する市民から、」参画する市民へ~公共施設の未来「反省会」(5/26・6/30~7/6・18)
- ・「まちづくりの計画と実践」講師/主催:青葉区まちづくり実践大学運営委員会 (7/3 紅邑)
- ・仙台市社会教育委員会 (7/8 紅邑)
- ・(特)杜の伝言板ゆるる総会 (7/12 紅邑)
- ・白河市民大学講座/主催:白河市生涯学習推進本部 (7/12・19 加藤)
- ・幹部セミナー/主催:(財)ふくしま自治研修センター (7/14 加藤)
- ・まち美化ネットワーク世話会 (7/16 紅邑)
- ・市民と行政のパートナーシップ研究会/主催:北上市企画調整部企画課 (7/17・25 加藤)
- ・地方制度調査会専門小委員会 (7/18 紅邑)
- ・みやぎ県民大学「自主企画講座」業務委託に関する判定会議 (7/22 青木)
- ・実践型コミュニティビジネス開発講座/主催(財)仙台市産業振興事業団:(7/22 加藤・川村・遠藤智)
- ・仙台市市民活動サポートセンター市民活動共同事務室事務用ブース使用者審査会議 (7/24 青木)

## ■相談、ヒアリング関連

- ・経営相談 (6/17 7/23 加藤)
- ・ヒアリング:市民社会連帯会議日本調査団 (7/4 加藤)
- ・ヒアリング:(財)横浜市女性協会 (7/9 加藤)

サポート・ご協力 ありがとうございます

●平成15年度会員 (五十音順、敬称略、2003.5/20~2003.7/25)

- (新規・正会員・個人) 熨斗栄子  
 (新規・正会員・団体) IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」 (特) やまがた育児サークルらんど 松山風土研究会  
 (継続・正会員・団体) 愛知絢子 伊勢武彦 鎌田さゆり 北尚登 黒澤学 小島妙子 昆野武裕 佐藤元吾 白川由利枝  
 谷川俊太郎 日向則子 藤原範典 紅呂晶子 三澤宏嘉  
 (継続・団体・準会員) (特) あかねグループ (特) いしのまきNPOセンター AKK仙台 角田市アジアの農民と手をつなぐ会  
 (特) 起業支援ネット (特) 市民フォーラム21・NPOセンター 女性のための離婚ホットライン 白石みやぎ環境を考える会  
 仙台ダルク 仙台地方労働者福祉協議会 (特) ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 東北HIVコミュニケーションズ 日本  
 労働組合総連合会宮城県連合会 (特) パートナリシップサポートセンター (特) ほっとあい (特) みやぎセキュリティNPO  
 (継続・企業ほか・正会員) ハリウコミュニケーションズ(株) 仙台都市総合研究機構  
 (新規・準会員) (特) 白石うぐいす会  
 (継続・準会員) 赤須治郎 市川力 今田忠 枝松芳枝 岡崎トミ子 遠藤邦昭 遠藤啓介 木須八重子 クリーンアップ蒲生  
 小浜耕治 坂下康子 (特) 塩釜市体育協会 (特) 白石うぐいす会 (特) 住民互助福祉団体ささえ愛山元 笹尾恭子 佐々  
 木孝行 佐藤照子 鈴木亮一 須藤達也 世古一穂 田中秀穂 畠山俊樹 立岡立美 日本たばこ産業(株) 仙台原料本部 日  
 本たばこ産業(株) 仙台支店 ふくしま地域づくりの会 藤田佐和子 古館光治 宮野学 柳沼芳美 山本美加 (特) WACまごこ  
 ろサービスみやぎ  
 (平成14年度・正会員) 登坂宗太 古館光治 松山風土研究会  
 (平成14年度・準会員) クリーンアップ蒲生 萩原なつ子  
 (平成13年度・準会員) 登坂宗太 (平成16年度) IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」  
 (情報購読) 高松市ボランティア・市民活動センター

●企業・団体協力 (五十音順、敬称略)

岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて)、東北NSソリューションズ(PONPO-NETの会議室を無料提供)、  
 宮城ゼロックス(PONPO-NETの会議室を無料提供)、富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)

総会のご案内

第5回 2002年度通常総会 & 記念講演会開催

■通常総会

2003年9月6日(土) 14:30~17:00  
 場所: 仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール

■総会記念講演会

2003年9月6日(土) 18:40~21:00  
 場所: 仙台市シルバーセンター  
 講師: 北川正恭氏 (早稲田大学教授・前三重県知事)

催事・サポート案内

■センターサロン

・8/21(木)「戦争に対して仙台にいる私たちができること」  
 会場: 仙台市市民活動サポートセンター 研修室1  
 時間: 19時~21時  
 参加費: 500円 ※要申込(事務局までご連絡下さい)

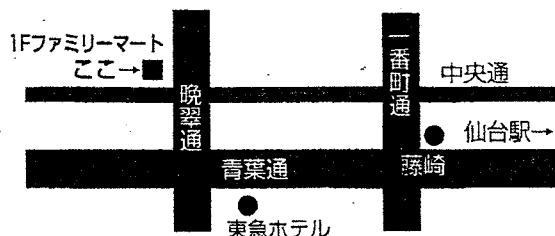
■NPO経営相談 8/7(木) 9/19(金)

時間: 13時~17時(1時間単位: 当センター事務局にて)  
 相談料: 会員2000円 非会員2500円  
 アドバイザー: 加藤哲夫(事前予約が必要です)

せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F  
 tel 022-264-1281 fax 022-264-1209  
 E-mail minmin@minmin.org  
 http://www.minmin.org/  
 会費・寄付はこちらどうぞ!  
 郵便振替: 02260-3-16325  
 加入者: せんだい・みやぎNPOセンター

■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15~20分



みんみん編集後記

■毎日がイベント(戦い)という状況ですが、海の日に田尻町の蕪栗沼で沼体験をしてきました。土手をただただ歩くだけなのですが、長靴の底から感じる土の感触がすごく気持ち良かったです。(べに) ■宮城県西部・北部を襲った連続地震。日がたつにつれ被害状況があきらかになってきました。それにしても死者が出なかったことだけは不幸中の幸い! 巻頭で木村理事が話されているように、コミュニティの底力=最後のライフライン、なのかもしれません。(工藤) ■ピーカンに晴れた故郷・山形に帰り夏を感じてきました(赤ワインソフトを食べ残したのが心残りでしたが...)。宮城はというと雨続き、米の育ち具合が気になりお天気と大地の神に祈る日々です。(遠藤) ■今回初めて『みんみん』の編集をさせていただいき、特に原稿を集める際などにさまざまな方のお世話になりました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(畠山)